



にっしん 学校だより

令和7年11月11日
第 13 号

創立50周年式典行事を終え、未来に向かって歩み出しました

11月1日(土)、あいにくの雨模様でしたが、式典やたてわり活動「日新わくわくフェス」などの活動時間、エンディングと進むにつれ、時には日が差すぐらいに天気も回復し、まるでお日様もお祝いをしてくれたようでした。

式典では、6年生の代表児童が、次のようなあいさつをしました。

「日新小学校創立50周年」という大きな節目の年に、私達が在校生としてこの式典に参加できることを、とても誇りに思います。

私達の学校には、これまでの50年間、多くの先輩方が学び、仲間とともに成長してきた歴史があります。この学校の象徴でもある「ちえの木、こころの木、からだの木」は、開校後記念として植えられたものです。この間、雨や風、強風にも負けず、多くの先輩方とともに日々歩み続け、この学校を見守ってきてくれました。

私達も、この3本の木のように、学び続ける知恵や人を思いやる心、前向きに挑戦するたくましい体を育て、日々成長していきたいと思います。

そして、先輩方が築いてこられたよい伝統を受け継ぐだけでなく、「自分たちだからこそできる新しい挑戦」にも取り組み、日新小学校の未来をよりよいものにしていきます。下級生にとって憧れとなる姿を示し、次の60周年、70周年へと、しっかりバトンをつないでいきます。



たてわり活動「日新わくわくフェス」では、たてわり班ごとに、お店を出したり、お店をまわって、ゲームなどを楽しんでいました。なかには、お客さんの呼び込みをしていた児童もいました。お店の会場準備、ルール説明などの説明は、どの学年の児童も、積極的に取り組んでいました。どのお店も工夫されていました。



PTA企画「宝を探して50周年のシンボルマークをつくろう」では、子ども達が探し出したシールで、50周年記念のシンボルが完成しました。PTA実行委員の皆様、ありがとうございました。



シンボルマーク

エンディングでは、6年生代表児童が、あいさつをしました。

日新小学校創立50周年を記念して、私達が選んだ曲は「はじまりの歌」です。

この曲には、明るく、新しい未来への扉を開いていこうとする強い思いがこめられています。50周年という節目を迎え、私達は、次の時代へ向かって力強く歩み出したいという願いを、この歌に重ねました。

これまで日新小学校を支えてくださった先輩方や地域の皆様、そして、いつも応援してくれるお家の方々への感謝の気持ちをこめて、心をひとつにして歌います。

そして、「はじまりの歌」。全校児童の心がひとつになった、素敵な歌声が体育館中に響き渡りました。

